

江戸時代の庶民生活を舞台にした

歴史小説に見る鶴見

かつて鶴見には米まんじゅうの鶴屋と亀屋、信楽茶屋、サボテン茶屋、熊茶屋等、多くの茶屋がありました。また、子育てまんじゅうも売られていました。

岩崎京子さんの歴史小説から江戸時代（文化・文政の頃）の当時の鶴見の暮らしや歴史が見えてきます。クリスマスの夜を朗読でお楽しみください。

語り手の父の体験記『シベリヤの月』から一部朗読も披露します。

日時：12月25日（水）
18:00～19:30（開場 17:30）
会場：つるみ区民活動センター

申込不要 先着 30名/無料

入退室自由 ※17時以降は夜間入口



志がらき茶屋：江戸名所図会由来の信楽茶屋の立看板より



語り手：中村 一江 さん

横浜音声表現研究会会長 鶴見人ネット登録者

区内各所で多くの朗読を披露している。柔らかな語り口には定評あり。

シベリア抑留を経験した父、故蓮井秀義さんの手記を妹と共に自費出版本を通して若い人たちへ戦争の悲惨さも伝えていきたいと話す。